

あきらめなかったから、
素敵な会社と仲間に出会えた



そら やすこ
空 靖子さん

昨年3月に大学を卒業後、イベントの企画・運営を行う(株)アンカーに11月に入社。札幌市出身。23歳。

働く千カラ さっぽろ流

Vol. 1

「超就職氷河期」といわれる昨今。就職先を道外に求める人もいる中、札幌で働くことを選び、生き生きと仕事をしている若者がいます。このシリーズでは、そんな元気な若者にインタビュー。札幌で働く理由や仕事に対する思いを語ってもらいます。

— 現在の仕事の内容を教えてください。

展示会や各種祭典などのイベントの企画、制作、運営を行う会社で、私は、売上伝票の処理や電話応対など、主に営業事務を担当しています。

— 学生時代の就職活動を振り返って、いかがでしたか。

ものづくりをやりたいと考え、主に広告・印刷といった業種を中心に活動しましたが、思うような結果が出ませんでした。就活に関する本などの情報を自分のPRにどう生かすかが難しく感じましたね。

— 大学卒業後はどのような活動をしたのですか。

住みやすい地元の札幌で就職したいと考えていたところ、「ジョブスタートプログラム」という支援制度を知り、参加することにしました。ビジネスマナーやパソコン技能を学んだほか、自分たちが参加する企業説明会を、限られた予算の中で企画・実施するという実務も経験しました。

— その後、プログラムの仕上げとなる実務研修の受け入れ先として、今の会社と出会ったそうですね。

はい。イベント企画のプロだけに、社員の方はみな発想豊かで情熱的。最初は驚きや戸惑いもありましたが、活気のある楽しい職場です。最終的

に入社が決まったときは、本当にほっとしました。

— 今の仕事のやりがいや、これからの目標はありますか。

会社が携わったイベントが成功することで、生まれ育った札幌が少しでも元気になればうれしいです。そのために、私も早く多くの知識を身に付けて、お客様の役に立てるようにになりたいですね。

— 最後に、就職活動している若者へメッセージをお願いします。

就職が決まらない期間は、とても不安でつらい時期ですが、そこで諦めないことが大事だと思います。私も、動き続けたことでジョブスタートプログラムを知り、同じ境遇の仲間と出会い、刺激し合いながら一緒に頑張ることができました。諦めなければ、自分が行きたい企業、自分を見つけてくれる企業にきつと出会えると思います。



先輩社員の指導を受けながら日々の仕事に励む空さん

空さんが活用した支援制度

ジョブスタートプログラム

新卒・若年の求職者を研修生として委託事業者が数カ月間雇用。就職に必要な技能の研修、職場実習などを通じて早期の就職を目指すプログラムです。次回はおおむね25歳以下の求職者を対象に、8月下旬ころの募集を予定しています。

問い合わせ先 人材育成担当 ☎211-2368

ホームページ www.city.sapporo.jp/keizai/koyo/koyo/rishoku/documents/h23job-start2-index.html

就職力が身に付きます

研修や実習のほか、適性に合う企業を紹介するカウンセリングなど、多くの支援を給料を得ながら受けられます。ぜひ活用してください。

人材育成担当
きむらやすえ
木村 靖枝さん

